

令和6年度 新潟大学後期日程入試 総合問題（人文学部）

問1

<解答例>

ウェブ上の既存の情報を再パッケージ化することを目的とした会社は、コンテンツミルと呼ばれることがある。それと同じような形で、大規模言語モデルがウェブ上のコンテンツを生成するのに用いられると、ウェブは自分自身のぼやけたバージョンと化し、私たちはそこで自分が求めているものを見つけることが難しくなってしまう。

問2

<解答例>

大規模言語モデルによって生成された文章は、フィクションであれノンフィクションであれ独創的なものを書こうとしているとき、書き手が文章の構築作業を進めるための有用な出発点となり得るだろうか。

問3

<解答例>

学生たちにエッセイを書かせることは、単に題材についての学生らの理解を確かめる手段であるのではない。それは、学生たちに自分の考えを明確に表現する経験を与えるのである。

問4

<解答例>

人間が書いた初稿には、その文章が述べていることと書き手がそれに言わせたいこととの間の隔たりへの気づきという漠然とした不満が伴っており、それが書き直す際に書き手を導くものとなるのだが、そうした不満はAIによって生成された文章には欠けているから。

問5

<出題の意図>

大規模言語モデルによって生成された文章を出発点とすることは独創的な文章を執筆するための良い方法ではないという著者の主張を踏まえた上で、独創性や創造性、時間といった言葉に注意を払いつつ、具体的かつ説得的な議論が提示されていることを重視する。